

# 「パキスタン洪水 緊急支援まとめて募金」 活動報告

2010 年 12 月 14 日 (特活)国際協力 NGO センター

「パキスタン洪水 緊急支援まとめて募金」概要

開設期間：2010年8月6日から11月19日まで

参加団体一覧（11団体）：

- （特活）アムダ（AMDA）
- （特活）オックスファム・ジャパン
- （特活）グッドネーバーズ・ジャパン
- （公財）ケア・インターナショナル ジャパン
- （特活）国境なき子どもたち（KnK）
- （特活）ジェン（JEN）
- （特活）シャプラニール＝市民による海外協力の会
- （社）シャンティ国際ボランティア会
- （特活）難民を助ける会
- （特活）メドゥサン・デュ・モンド ジャポン(世界の医療団)
- （特活）ワールド・ビジョン・ジャパン

総募金額：1,879,237円

ご寄付者：個人19名様、法人2団体/社様

## 特定非営利活動法人アムダ

### ・ 団体概要 :

「救える命があればどこへでも」

AMDA は相互扶助の精神に基づき、国内外で発生する自然災害被災者への医療を中心とした支援活動を実施しています。「ローカル・イニシアチブ」、すなわち「現地の人が一番良い解決法を知っている」という考えに基づき現場を重視しつつ、「援助を受ける側にもプライドがある」ということを念頭におき活動を行っています。

### ・ 代表者 : 菅波 茂

### ・ 設立年月 : 1984 年 8 月

### ・ ホームページ URL : <http://amda.or.jp/>

### ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL : <http://amda.or.jp/articlelist/index.php?storytopic=25>

### 【支援地域】

ハイバール・パンプトン州ノウシェラ県、シンド州タッタ県

### 【支援対象】

健康状態に異常の疑いがもたれる患者 (全診療者数 4979 人)

### 【主な活動内容】

AMDA は 9 月 2 日に AMDA アフガニスタンの医師 2 人を現地協力団体 NRSP のイスラマバード本部に派遣。派遣医師 2 人と、看護師 2 人はアザクヘルキャンプや付近の避難キャンプで巡回診療を開始し、合計 2464 人を診療した。当初懸念されていたコレラやマラリアの流行はなく、主な疾患は下痢(22%)、急性呼吸器感染症・耳鼻疾患(21%)、皮膚疾患(15%)、目の疾患(12%)、マラリア(6%)だった。

さらに、洪水被害が南部にも拡大したことを受けて、9 月 16 日からは南東部タッタ県に AMDA 岡山本部から第 1 医療チームを派遣した。到着直後から巡回診療を行い、被災者からは窮状を訴える声が多数寄せられた。さらに 24 日には AMDA インドネシア支部の医師 2 人、看護師 1 人が巡回診療に合流した。9 月 29 日からは第 1 医療チームにかわり第 2 医療チームと AMDA バングラデシュ支部の医師 1 人、医療助手 1 人、調整員 1 人活動を引き継ぎ、計 2515 人を診察した。診察した患者の 4 割以上を 15 歳未満の小児患者が占めた。下痢は北部に比して少なくマラリアは非常に少なかった。胃炎、全身倦怠感、疲労など精神的、身体的ストレスを訴える患者も多く見られた。インドネシア支部の派遣者は 10 月 7 日、バングラデシュ支部の派遣者は 10 月 8 日、日本の医療チームは 10 月 9 日現地を出発し、10 月 10 日に帰国した。

### 【今後の活動予定】

今後はカラチから北へ車で 1 時間半ほどの距離にある避難キャンプで、小学生のための仮設校舎、子供の医療保健、女性の生活支援を行うことを視野に入れ、ハムダード大学と協議を行っています。ハムダード大学は現在、その避難キャンプで洪水被災者のために食料支援や巡回診療を行っています。



巡回診療中の米田医師(タッタ県)



虚弱児を診る瀧崎医師



アフガニスタン支部による巡回診療(アザクヘル)



巡回診療する菅波代表(タッタ県)

## 特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン

- ・ 団体概要 :  
オックスファムは1942年にイギリスで設立され、世界99カ国で活動する国際協力団体です。世界17の国・地域に拠点を置き、貧困を克服しようとする人びとを支援し、貧困を生み出す状況を変えるために活動しています。
- ・ 代表者 : 松井ケティ(代表理事)
- ・ 設立年月 : 2003年12月
- ・ ホームページ URL : [www.oxfam.jp](http://www.oxfam.jp)
- ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL : [http://oxfam.jp/2010/08/post\\_327.html](http://oxfam.jp/2010/08/post_327.html)

### 【支援地域】

カイバル・パクトゥンクワ州、パンジャブ州およびシンド州

### 【支援対象】

オックスファムとそのパートナー団体は、120万人以上を対象に支援活動を行っています。

### 【主な活動内容】

#### 救助および避難活動

援助活動の初期段階では、パンジャブ州とシンド州の洪水に巻き込まれた10万人を、地元の捜索救助ボートを利用して安全に避難させる支援を行ないました。

#### 水と衛生

地域の交通や通信システムへの大きな被害を乗り越え、仮設トイレと水タンクを設置し、トラックで清潔な水を供給することで、水によって引き起こされる致命的な感染症が避難民のコミュニティに蔓延するのを防いでいます。また、破損した水道管の修理、井戸の清掃、水ポンプの設置を行ないました。

インフラへの被害によりトラックでの水の供給が難しい地域では、浄水剤の小袋を配布しています。

#### 保健衛生

疫病の流行を防ぐために、公衆衛生の専門家が衛生キットを配布し、衛生的な習慣を推進しています。下痢が深刻な問題となっているため、経口補水塩を配布しています。

#### 食料と生計

食料と生計の面での緊急支援活動は、即時に必要な、最低限の食糧ニーズを満たすこと、生計手段を保護し、多様化させ、回復させることを目的としています。

したがって、温かい食事を提供することに加えて、現金バウチャーを配布して、基本的な食料を買い取るように支援を行っています。初期の復興支援として、「キャッシュ・フォー・ワーク」を実施し、人々が被災地の家や村にあるゴミを除去し、その労働の対価として現金を受け取って生計を助けているほか、農作業が再開できる地域では種と肥料を配布しています。

### 【今後の活動予定】

最も被害の大きかったシンド州の大半が未だ水没したままであり、緊急援助を引き続き必要としています。オックスファムは、安全な水の提供、トイレなどの衛生設備の設置、衛生用品や簡易住居資材の配布ほか、現金バウチャーの配布を継続します。また、少なくとも2011年11月までを復興支援期間と位置づけ、水がひいた地域において、「キャッシュ・フォー・ワーク」や、農業再開を支援する種、肥料や農具の配布を行っていきます。



避難シェルターから被災者を救助するオックスファムとパートナー団体



キャプション：正しい手洗いの方法を皆に示す少女



キャプション：トラックから供給された水をバケツで運ぶ少年



「キャッシュ・フォー・ワーク」プログラムでトイレを建設

## 特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパン

- ・ 団体概要 :  
世界 24 カ国で教育支援を中心とした地域開発事業を手がけている国際 NGO グッドネーバーズ・インターナショナルの日本メンバーです。
- ・ 代表者 : 代表理事 窪誠
- ・ 設立年月 : 2004 年 12 月
- ・ ホームページ URL : <http://www.gnjp.org/>
- ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL :  
[http://www.gnjp.org/campaign/emgcy\\_2010pakistan.html/](http://www.gnjp.org/campaign/emgcy_2010pakistan.html/)

### 【支援地域】

カイバル・パクトゥンクワ州ノウシェラ郡

### 【支援対象】

弱者である障がい者と未亡人、それからマイノリティーであるキリスト教徒

### 【主な活動内容】

カイバル・パクトゥンクワ州ノウシェラ郡各所にて、マイノリティーであるキリスト教徒を中心に支援物資を配布した。またイスラム教徒であっても支援の届きにくい障がい者と未亡人等にも配慮して支援物資を届けた。感染症予防の観点からも体力を落とさないように良い睡眠をとることが大切であるため、支援物資は寝具関係とし、枕、シーツ、マットレス、夏用上掛け、冬用掛け布団のセットを配布した。また石鹸などの衛生用品も寝具と前後して配布した。飲料水・食料に関しては軍の駐屯地が近くにあるため、軍から適宜供給されていた。

今回は治安上の懸念があったため、一ヶ所に大勢を集めて配布するという方法ではなく、小型トラックやミニバンに数戸分ずつ物資を載せて、事前に作成しておいたリストに沿って、各戸を個別に訪問して物資を配布した。

### 【今後の活動予定】

洪水により家屋だけでなく校舎もかなり損傷を受けており、完全に崩壊してしまったものも少なくない。今後は現地の治安状況を見ながら、小学校校舎の再建を検討している



洪水で崩壊した家屋



支援物資を取りに来た避難民キャンプの子



支援物資の仕分け



支援物資を受け取り利用している未亡人



## 公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン

### ・ 団体概要 :

CARE は世界 70 カ国以上で高度な専門性をもつ 15,000 人のスタッフが人道支援活動を行う世界最大級の国際協力 NGO です。65 年にわたる貧困の根絶に向けた活動は、国連や各国政府の高い評価を得ています。

### ・ 代表者 : 数原 孝憲

### ・ 設立年月 : 1987 年 5 月

### ・ ホームページ URL : [www.careintjp.org](http://www.careintjp.org)

### ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL : [http://www.careintjp.org/news/news\\_101102.html](http://www.careintjp.org/news/news_101102.html)

### 【支援地域】

パキスタン・イスラム共和国 ハイバル・パフトウン・クワ州ノシエラ郡

### 【支援対象】

被災者の中でも特に脆弱な立場にある世帯を優先して支援。

### 【主な活動内容】

洪水発生直後に CARE は、最も被害が大きいとされるハイバル・パフトウン・クワ州 3 郡において、緊急対応用として保管している家族用テントと緊急生活支援物資を被災者 750 世帯に対して配布した。現在は、同州同 3 郡、パンジャブ州南部 2 郡、そしてシンド州 3 郡に、被災者支援活動を拡大している。支援活動は、被災地の状況と被災者のニーズにあわせ、家族用テント・緊急生活支援物資配布、巡回医療キャンプ設置、衛生啓発活動（巡回医療キャンプ併設）、簡易トイレ設置、Cash for Work 等にわたっている。

### 【今後の活動予定】

現在は緊急対応を中心としているが、復興期での支援も視野に入れた洪水対策戦略を立てています。特に、これから寒い冬を迎えるにあたり、シェルターは必要不可欠です。北部地域の冬はとて厳しく、いくつかのエリアでは 180cm ほど雪が積もります。CARE が配布しているブランケットやベッド、防寒対策用衣類や耐久性のある冬用テントを確保する予定です。



裸足で避難する住人たち



食糧の配布を待つ人たち



水没している村



野外で勉強をする子どもたち

## 特定非営利活動法人国境なき子どもたち

- ・ 団体概要 :

国境なき子どもたちは開発途上にある国々のストリートチルドレンや人身売買の被害に遭った子ども、大規模自然災害の被災児や騒乱などの影響により不安定な状況におかれた青少年への教育支援を行う NGO。日本の青少年を対象とした教育プロジェクトも実施。

- ・ 代表者 : 会長 寺田朗子

- ・ 設立年月 : 1997年9月10日

- ・ ホームページ URL : <http://www.knk.or.jp/>

- ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL : <http://www.knk.or.jp/act/PAK/news/100806.html/>

### 【支援地域】

パキスタン北西部に位置するハイバル・パフトゥーンハー州コヒスタン郡及びシャングラ郡

### 【支援対象】

7月末に発生した洪水により校舎が流されたり、倒壊の危機にあるなど被害を受けた学校

### 【主な活動内容】

パキスタン北西部に位置するハイバル・パフトゥーンハー州コヒスタン郡及びシャングラ郡の山岳地帯で洪水被害を受けた学校に対し、仮設校舎の建設及び学用品、学校資機材の配給、教師の能力強化研修、PTA 活性化、被災児童の復学支援を行うため活動しています。洪水の発生後、停止していた教育活動の再開が可能となるようハード・ソフトの両面から支援しています。

国境なき子どもたちは現地パートナー団体の Friends Welfare Association(FWA)の協力のもと、2010年9月から支援活動を開始し、10月末までには44校に対して仮設テントや学用品の配布が完了しました。配布が完了した学校ではテントの中で授業が再開しています。

11月からは、2011年2月末までの4ヶ月間の計画で被害を受けた20校に対して木造の仮設校舎の建設を始めています。校舎が完成次第、子どもたちへの学用品の配布を行います。仮設校舎の建設を進めると同時に教師やPTAメンバー、生徒会に対して研修を行い、各コミュニティにおける適切な学校運営や教育活動の継続におけるそれぞれの役割の重要性について学びを深めてもらう取り組みも行います。

また洪水後、学校を離れてしまった子どもたちを対象に、スポーツ大会や演劇ワークショップを開催して、子どもや保護者に対して学校活動の再開を広く告知するとともに災害後も学び続けることの大切さを伝え、子どもたちの復学を促します。

### 【今後の活動予定】

2011年3月以降は、JPFの助成もしくは外務省の助成制度を活用し、コヒスタン郡及びシャングラ郡における被災学校の再建支援を行う予定。





道がなくなったため数時間かけて歩いて家に戻る人々



倒壊した学校に配布された仮設テント



水害から 2 ヶ月経っても道路復旧のための工事が続いている

## 特定非営利活動法人ジェン

### ・ 団体概要 :

JEN はアフガニスタン、イラク、パキスタン、スリランカ、ハイチ、スーダン、新潟など、世界各国で紛争や災害後の生活再建を支えています。緊急支援の段階から、教育や生計の回復、道路や住居の再建など、刻々と変わる現地のニーズに対応しながら、いずれも現地の人たちの自助自立をサポートするための様々なプロジェクトを実施しています。

・ 代表者 : 吉岡健治 / 赤川恵一

・ 設立年月 : 1994年1月

・ ホームページ URL : [www.jen-npo.org/](http://www.jen-npo.org/)

・ パキスタン洪水支援情報ページ URL :

<http://www.jen-npo.org/active/pakistan.html/> (JEN パキスタン活動概要)

[http://jenhp.cocolog-nifty.com/jen\\_pakistan/](http://jenhp.cocolog-nifty.com/jen_pakistan/) (JEN パキスタン洪水支援 支援速報)

### 【支援地域】

パキスタン北西部ハイバル・パフトゥンハー州 (K P K : 旧北西辺境州)

### 【支援対象】

2010年7月に発生した大洪水の被災者

### 【主な活動内容】

7月25日に始まったパキスタン北西部ハイバル・パフトゥンハー州 (K P K : 旧北西辺境州)をはじめ、同国全域にまで広がっている大規模な洪水により発生した被災者を対象に、緊急支援を開始しました。

JENは、大洪水による被災者支援として8月3日に緊急支援を開始しました。パキスタン現地事務所の現地スタッフ2名を被災地に派遣し、コハート県の被災者5,500世帯の中でも特に困難な生活を強いられている600世帯に、生活用品(\*)を中心にした物資配布を実施しました。

9月3日より、コハート県の被災者支援に加え、被害がより甚大で71,000世帯もの人々が被災したチャルサダ県へ支援地域を広げ、最も支援を必要としている2,500世帯を対象に物資配布を実施しています。

コハート県、チャルサダ県は、武力衝突によって多くのIDP(国内避難民)が発生したFATA地域(連邦直轄部族地域)からの避難民の避難先となっています。そのため、現地行政によるこの災害への対応に大幅な遅れが生じています。JENは、衛生環境の悪化をはじめ、日々変化する状況に最大限に対応しながらの緊急支援を続けています。

(\*)生活用品(衛生用品セット、キッチンセット、プラスチック・マットなど)

### 【今後の活動予定】

チャルサダ県では、農業従事者約65,000世帯のうち、90%が今回の洪水の被害を受けました。そこで、被災者が一日も早く、もとの生活に戻るために緊急支援として、農業を再開するための種や農具、肥料からなるキットの配布と、洪水で荒廃してしまった農地の整備のためのトラクターの貸し出しを行う予定です。対象となるのは、同県および隣のノウシェラ県で農業を生業としていた被災者のうち、農具や農地などすべてを失った1,500世帯を予定しています。



水害直後の被災地。建物が崩れがれきの山となっている（コハート県）



配布したキッチンセットの一部（コハート県8月）



シェルターキットを受け取り全壊した家の脇に設営。これで家族全員が安心して暮らせます（コハート県8月）



ひび割れたかつての農地を調査中の現地スタッフ（ノウシェラ県）

## 特定非営利活動法人シャプラニール = 市民による海外協力の会

### ・ 団体概要 :

シャプラニールは民間の海外協力団体で「すべての人びとが持つ豊かな可能性が開花する社会の実現」を目指し、バングラデシュ、ネパール、インドにて貧しい農民やストリートチルドレン、使用人として働く少女への支援活動などを行っています。日本ではフェアトレード (=クラフトリンク南風) や不用品のリサイクル・リユース (=ステナイ生活) を通じた海外協力などを実践しています。

・ 代表者 : 中田豊一

・ 設立年月 : 1972年9月

・ ホームページ URL : <http://www.shaplaneer.org/>

・ パキスタン洪水支援情報ページ URL :  
<http://www.shaplaneer.org/support/pakistan.html>

### 【支援地域】

シンド州 (Sindh) サジャワル (Sajawal)

### 【支援対象】

シンド州 (Sindh) サジャワル (Sajawal) にて 520 世帯を対象

### 【主な活動内容】

現地で活動する NGO、Asian Resource Foundation (ARF) Pakistan をパートナーにして救援活動を実施。ARF はボランティアを動員し避難住民の状況を調査した結果、当初救援活動を行う予定だったタッタの避難キャンプでは多くの団体が支援を行っていることを確認。まだ支援の手が届いていなかったタッタの南東約 25km にあるサジャワル (Sajawal) で救援活動を行うことを決定した。サジャワルでは家屋や農業への被害の他、避難所の衛生状態が悪く、女性や子どもたちの感染症等に罹患する危険性が高まっている。シャプラニールでは ARF と共に 9 月中旬、サジャワルにて 520 世帯を対象に小麦粉、米、食用油の配布を行った。

### 【今後の活動予定】

引き続き ARF との調整を行い、救援活動のフォローを行う。





避難キャンプで生活する子どもたち



救援物資の配布の様子



水没した農地



避難キャンプでの生活

## 社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA)

- ・ 団体概要：  
当会はタイ、ラオス、カンボジア、アフガニスタン、ミャンマー（ビルマ）難民キャンプに事務所をおき、子どもの教育、文化の支援活動に取り組んでいるNGOです。国内外の災害救援、復興支援活動も行っています。
- ・ 代表者：若林恭英
- ・ 設立年月：1981/12/10
- ・ ホームページ URL：<http://sva.or.jp>
- ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL：<http://sva.or.jp/eru/paki2010/>

### 【支援地域】

ノウシャラ郡およびチャルサダ郡

### 【支援対象】

4,000 世帯

### 【主な活動内容】

- 1 水、食料（お弁当、米、小麦粉、油など）の提供  
9月下旬から、合計 3,000 世帯を対象に食料の配布を行った。被災地では家財道具の全てを失い自炊能力がほとんどない状況だったため、すぐに食べられるお弁当を 2 週間に渡り昼と夜に配布した。
- 2 医薬品、生活必需品などの提供  
10月上旬からは 1000 世帯を対象に女性用ショール(肩掛け)と歯ブラシ、歯磨き粉、石鹸、シャンプーなどの衛生用品を配布した。  
また、社会的弱者のいる 32 世帯を対象に、寝具、調理器具、食器セット、ガスコンロ、飲料水用タンクなどを配布した。
- 3 「越冬用」防寒用品の提供  
10月下旬から「越冬用」として防寒用品の提供を始めた。

### 【今後の活動予定】

- 1 新たに 850 世帯、8500 人への防寒用品の提供
- 2 住宅補修のための資器材の提供（120 世帯）
- 3 貧困世帯への家畜（山羊）やミシンの提供（150 世帯）



緊急支援物資のお弁当を手渡す SVA スタッフ（ノウシャラ郡）。



緊急支援物資の寝具や調理器具を手渡す SVA スタッフ（ノウシャラ郡）



受け取ったその場でお弁当を広げる村人と子どもたち（ノウシャラ郡）。



緊急支援物資の寝具や調理器具（ノウシャラ郡）

## 特定非営利活動法人難民を助ける会

### ・ 団体概要 :

難民を助ける会は、政治・宗教・思想に中立な立場で活動する国際 NGO です。1979 年にインドシナ難民支援を目的に設立され、これまで 55 を超える国や地域で支援活動を実施してきました。現在は緊急支援、障害者支援、地雷対策、感染症対策、啓発を中心に活動に取り組んでいます。

・ 代表者 : 理事長 長 有紀枝

・ 設立年月 : 1979 年 11 月 24 日

・ パキスタン洪水支援情報ページ URL :  
<http://www.aarjapan.gr.jp/activity/report/pakistan/>

### 【支援地域】

パキスタン北西部のノウシェラ郡および中部のムザファルガル郡、南部のスッカル郡

### 【支援対象】

被害の大きい地域の住民。特に人口密度の低い地域の被災者や、高齢者・障害者・女性など、配給物資をなかなか手にすることができない方々に配慮しました。

### 【主な活動内容】

#### \* 緊急支援物資の配布

被災直後からは、特に被害の大きかった北西部のノウシェラ郡で、現地の協力団体とともに約 2,020 世帯（約 16,000 人相当）に、食料や生活必需品などの支援物資を配布しました。被災者の方々からは、「初めて受け取った支援です」という声をたくさんいただきました。

<配布した支援物資の例>

食料セット：米、豆、砂糖、紅茶、食用油、小麦粉、ナツメヤシ、香辛料

衛生キット・生活必需品：調理用鍋、皿、おたま、調理用ボール、水タンク、コンロ、石けん、食器洗剤、洗濯洗剤、ベッドシート、蚊帳、ビニールシート、歯磨き粉、歯ブラシ、タオル、バケツ

#### \* 医療支援

8 月末からは、医師・薬剤師などからなる診療チームが被災地を訪れて診療を行う、医療支援活動を実施しました。国際的な支援は首都から近い北西部に集中しがちで、中部・南部は支援の足りない状況が続いていました。そこで北西部のノウシェラ郡に加え、中部のムザファルガル郡、南部のスッカル郡でも活動を実施。合計 12 の診療チームが、2 か月でのべ約 60,000 人の患者を無料で診察しました。パキスタンの文化慣習で、男性医師による女性患者の診療は避けられる傾向にあるために、診療チームには必ず女性スタッフを入れました。医療サービスが届きにくい町の中心部から離れた地域や、人口密度の低い地域には、被災地を移動しながら避難キャンプなどで診療する、巡回診療を実施しました。診療所を訪れる患者の多くは、皮膚病、発熱、下痢などの症状を訴えていました。診察と薬の処方、そして必要に応じて大きな病院への紹介を行います。ひとつの診療所で一日あたり約 100 人の患者を診察しました。

### 【今後の活動予定】

今後は北西部のノウシェラ郡で、大きな被害を受けながらも支援の行き届いていなかった、幹線道路から離れた場所に住む方々や、障害をもった子どもたち、アフガニスタン難民キャンプの被災者などを対象に、支援活動を継続します。寒さが厳しくなるこれらに向けて、毛布やマットレス、冬もののショールなどを配布するほか、学校が再開できるよう、公立の小学校や障害児学校を支援する予定です。



被災直後の支援物資配布の様子。この日は炎天下のなか、200世帯分の支援物資を配布しました。



栄養不足から体調を崩して診察を受けに来たサブハイさん（中央）。自宅はまだ水が引いていないので、いつ帰れるかわかりません。



支援物資には、パキスタンならではのマサラと呼ばれる香辛料や、ナツメヤシも入っています。



中部ムザファルガル郡の診療所の前では、診察を待つ被災者の方々が、待合室の外にまであふれていました

## 特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド ジャポン(世界の医療団)

- ・ 団体概要 :  
「世界の医療団」はパリに本部を置く、世界各地に医療・保健衛生分野の専門スタッフ中心に派遣し、人道医療支援に取り組む国際 NGO です。国籍、人種、民族、思想、宗教などのあらゆる壁を越えて、世界で最も弱い立場にある人々に支援の手をさしのべることが、私たちの活動です。
- ・ 代表者 : 世界の医療団日本 理事長ガエル・オスタン
- ・ 設立年月 : 1995年3月
- ・ ホームページ URL : [www.mdm.or.jp/](http://www.mdm.or.jp/)
- ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL :
  - [http://www.mdm.or.jp/news/news\\_detail.php?id=412](http://www.mdm.or.jp/news/news_detail.php?id=412)
  - [http://www.mdm.or.jp/news/news\\_detail.php?id=398](http://www.mdm.or.jp/news/news_detail.php?id=398)
  - [http://www.mdm.or.jp/news/news\\_detail.php?id=394](http://www.mdm.or.jp/news/news_detail.php?id=394)
  - [http://www.mdm.or.jp/news/news\\_detail.php?id=388](http://www.mdm.or.jp/news/news_detail.php?id=388)

### 【支援地域】

カイバル・パクトゥンクワ州 (KPK 州) のノウシェラ、チャルサッタ、コハト、スワビ、ブネル、ハング。

### 【支援対象】

KPK 州 60 万人を対象。

### 【主な活動内容】

災害が起こった直後は病院施設等の保健システムも損害を受けており、医療従事者も浸水地域から避難せざるを得ない状況であったため、シェルター、飲料水、食料の供給を最重要の課題としました。

KPK 州での支援活動には約 230 名が医療的な最優先事項を元に、以下の通り活動しています。

#### <モバイルクリニック>

洪水による被害が特に深刻だった地域ノウシェラ、チャルサッタ、コハトにおいて、モバイルクリニックの各チームは主に、汚染水や不衛生な状態から起こる皮膚病、下痢症、呼吸器系疾患の患者を、一日におよそ 250 人治療。ノウシェラとチャルサッタの 2ヶ所で 5 万人の住民を対象としています。

#### <下痢対策用の診療所を設立>

汚染された水は腸内疾患を引き起こします。そのため下痢症状を訴える患者が急増しています。安全な飲料水へアクセスできないため、コレラが非常に発症しやすい状態となっています。コハトでは、数十人の成人及び子どもが激しい下痢症状であるとの報告があり、その中には深刻な脱水症状を起こしている場合もあります。世界の医療団は当局の保健担当者と協力して、下痢対策用の診療所を設立しました。40 床あるこの施設はコハト全域の患者の治療が目的です。コハトでは、一日 200 件以上の疾患が報告され、そのうち 30% が入院を必要としています。現在特に心配されているのはコレラの蔓延です。これまでの診療数は重症 355 件を含む 2008 件です。(2010年10月1日現在)

### 【今後の活動予定】

北部の洪水被害を受けた地域は急性期を脱しました。しかし衛生面は非常に脆弱な状況であるとし、今後数ヶ月は活動を継続していきます。



子どもを診る医療ボランティア



診察を受ける女性たち



子どもを診る医療ボランティア



診察を受ける親子

## 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

- ・ 団体概要 :

ワールド・ビジョン・ジャパンはキリスト教精神に基づき、開発援助、緊急人道支援、アドボカシー（市民社会や政府への働きかけ）を行う国際 NGO です。

- ・ 代表者 : 片山信彦

- ・ 設立年月 : 1987年10月

- ・ ホームページ URL : <http://www.worldvision.jp/>

- ・ パキスタン洪水支援情報ページ URL : [http://www.worldvision.jp/news/news\\_0509.html](http://www.worldvision.jp/news/news_0509.html)

### 【支援地域】

カイバル・パクトウンクワ州、シンド州、パンジャブ州

### 【支援対象】

洪水で被災された人々、特に子どもたち

### 【主な活動内容】

ワールド・ビジョンは、カイバル・パクトウンクワ州、シンド州、パンジャブ州にある22カ所の保健所と移動式クリニックで、保健カウンセリングとケアを行ってきました。女性と子どもたちが安全な環境の中で安心して生活を送り、支援を受けることができるスペース（Women and Infant Friendly Space（以下、WAIFS））や下痢治療センター（One Diarrhea Treatment Centre）も開設、運営しています。妊娠中の女性や5歳未満の栄養不良の子どもたちも含めた5,746人に、栄養改善のための支援を行いました。

人々の衛生についての関心を高めるため、42,861人を対象に清掃キャンペーンを行い、また256個の水タンク、302個の瓦礫を取り除くためのキット、300万個以上の浄水タブレットを配布しました。28,851世帯、20万人以上の人々にテントキット、キッチンキット、衛生キット、蚊帳とマットを、96,297世帯、65万人以上の人々に食糧を配布しました。

洪水によって、心身ともに大きな傷を負った子どもたちが安心して遊び、被災の心理的な影響を和らげるために、チャイルド・フレンドリー・スペース（以下、CFS）も17カ所で運営しています。現在まで、2,483人の子どもたちがCFSでの活動に参加しました。食糧、医療、専門家による心理的サポートを行うとともに、ゲーム、お絵かき、歌など、子どもたちが楽しめる様々なアクティビティを行うことにより、子どもたちが心に受けた傷を癒し、通常の生活に戻る手助けをしています。

### 【今後の活動予定】

洪水により被災した人々は、まだ多くの支援が必要です。ワールド・ビジョンは引き続き、支援を必要としている人々にテントや食糧の配布などを行い、多くの家族が安全な環境で安心して生活ができるように、活動を行う予定です。女性や子どもたちを支援するため、WAIFSやCFSの活動も続けていきます。





食糧を配布するワールド・ビジョンスタッフ



被災者に保健サービスを提供するワールド・ビジョンスタッフ



ワールド・ビジョンが運営している  
WAIFS



CFS での活動に参加する子どもたち